

予算特別委員会報告

予算特別委員会

委員長 福本 修

平成23年度一般会計補正予算（第1号）

賛成多数 原案可決

一般会計補正予算額は約7億9百万円であり、補正後の予算総額は約153億9千9百万円となります。

東日本大震災による国内経済、地域経済への影響は色濃く、国内消費・GDPの減少は避けられず、かつ、原発事故に伴う電力不足による潜在的な供給能力、供給体制も懸念されております。

震災による直接、間接的な影響がある中で、財政指標を注視しながら、奥出雲町の地域経済の下支えとなる、新エネルギービジョンに基づく循環型エネルギーの利用促進、あるいは特産品の販売拡大、観光資源の開発と整備、また福祉の充実などの予算は必要不可欠なものであります。

主な審査質疑内容は以下の通りです。

玉峰山荘木質チップボイラー 設置事業費の増額

1億7千万円

設備の財源、採算性、運営コストについて質疑がされた。



（現状は、A重油ボイラーのみを使用中）

災害復旧費

8千8百万円

5月の大雨災害によるもの。

多根自然博物館補助金

6千5百万円

指定寄付7千1百万円を財源。

酒蔵奥出雲交流館修繕費

2千2百万円

雪害による屋根の修繕費。

舞茸奥出雲施設整備事業

4千3百万円

無菌室を改修するもの。

佐白地区交流施設

モニュメント・エントランス広場整備

1千8百万円

実施を平成22年度から変更。

認知症対応型通所介護施設整備事業費

1千4百万円

亀嵩地区に定員12名を予定。

ふるさと雇用再生特別事業

7百万円

奥出雲振興へ委託。

食と地域の交流促進事業

4百万円

NPO法人「さくらおろち」及び「布勢の郷」へ委託。

職員の業務管理研修費

3百万円

昨年に比べ対象者を拡大。

東京芸術大学との連携事業

3百万円

学生、教員への報酬。旅費および仲介者等経費。

馬木診療所整備事業費の増額

（増額後3千5百万円）

1百万円

外溝工事および備品購入の増額。

平成23年度奥出雲町後期高齢者医療 保険事業特別会計補正予算（第1号）

全会一致 原案可決

本特別会計の補正額は272万円であり、補正後の予算額は3億7千6百万円となります。

補正額のうち、238万円については、本算定の結果、還付するものであり、対象者は364名となります。